

サケとサクラマス的人工採卵時における等張液を用いた未受精卵の洗卵がふ化仔魚の生存に及ぼす効果

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): サケ科魚類; 未受精卵; 等張液洗卵; 仔魚 キーワード (En): 作成者: 大本, 謙一, 小野, 郁夫, 平澤, 勝秋, 川名, 守彦, 吉水, 守 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010571

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



サケとサクラマス的人工採卵時における等張液を用いた未受精卵の洗卵がふ化仔魚の生存に及ぼす効果

大本謙一・小野郁夫・平澤勝秋・川名守彦・古水 守

さけますの等張液洗卵を事業規模で行い、洗卵による発眼率とふ化仔魚の生存率に及ぼす影響を検討した。卵表面の生菌数は、洗卵前のサクラマス *Oncorhynchus masou* で約 10^6 CFU/mL、洗卵後は約 10^2 CFU/mL 以下に、洗卵前のサケ *O. keta* で約 10^3 CFU/粒、洗卵後は約 10^1 CFU/粒と除菌効果が確認された。攪拌を伴うシャワー洗卵は発眼率が低下した。養魚池におけるサケ仔魚の累積死亡数を比較したところ、洗卵が養魚池の減耗を抑制する可能性が示された。事業規模の洗卵では、サクラマスは濯ぎ洗卵と無攪拌シャワー洗卵の組み合わせ、サケは無攪拌シャワー洗卵を提案する。